

## 企業内起業で起こすイノベーション ～ 帝人発 “老化” に挑む B2C ビジネス～

NOMON 株式会社 代表取締役 CEO  
帝人グループ 研究主幹／帝人株式会社 ヘルスケア事業統轄補佐  
プロダクティブ・エイジング コンソーシアム 代表  
山名 慶



### 目 次

概要 .....	1
はじめに .....	1
1. 企業内起業 帝人と NOMON.....	2
(1) 帝人グループ 100 周年プロジェクト.....	2
(2) 帝人グループの老化への取組み .....	3
(3) 新事業をつくる＝WHY からはじめよう .....	3
2. 老化と社会課題：健康寿命と Well-Being.....	4
(1) 健康寿命延伸の重要性 .....	4
(2) Well-being とは .....	7
(3) “Productive Aging” とは .....	8
3. 老化研究の最先端とビジネス .....	8
(1) 老化研究の現在 .....	8
(2) NMN について .....	11
(3) わさびスルフオラファン .....	12
(4) 食と病気.....	13
(5) 老化とビジネス .....	14
(6) 最先端を日常へ.....	16
おわりに .....	17

## 概要

約 100 年の歴史をもつ帝人株式会社（以下 帝人）の医薬品研究者の 1 人が、イントレプレナー（社内起業家）として「老化」をターゲットとした B2C の新事業を創出し、CEO として新会社 NOMON 株式会社（以下 NOMON）を設立した。超高齢社会の社会課題解決には、健康寿命延伸／Well-being／老化抑制の 3 点が重要である。多くの人が関心をもつ「老化」に対する帝人の新しい挑戦として、NOMON は老化研究の最先端技術を日常に届ける事業を展開している。1 例として、老化抑制にかかわる栄養成分「NMN」のサプリメント「NADaltus®（ナダルタス®）」（1 か月分で約 6 万円）を販売している。本講演では、老化をターゲットとした事業の現状と老化制御ビジネスの最先端情報を共有する。

## はじめに

まず自己紹介をする。帝人に入社以来、20 年以上にわたり医薬品研究に携わっている。帝人 99 年目にあたる 2017 年、100 周年を見据えた新しい取組みの募集をきっかけに、2019 年に NOMON を設立した。

現在は産学 10 機関をまとめた「AMED CiCLE プロジェクト※」の研究責任者を兼務する。フレイル（＝加齢により心身が老い衰えた状態）の薬（世界初）を作る研究の責任者として、国立循環器病研究センター オープンイノベーションラボでの研究のきっかけを作ったほか、後述のプロダクティブ・エイジング・コンソーシアム設立の発起人でもある。基本的立場は研究者であるが、社長も兼任している。研究も含めたビジネスの専門は老化である。※略歴にて後述

老化は必然ではなく、老化しない生物もいる。イセエビ、ベニクラゲ、ニシオンデンザメなどである。これらの生物の細胞は、老化する生物同様 1 つ 1 つは活動しているが老化はしない。一方、老化する生物であるヒトにおいては、平均寿命が 100 年前と比較して倍になり、高齢でも元気である。こうした現状から、老化する生物も老化を予防できるのではないかと考えている。

本講演では、企業内起業／老化と社会課題（健康寿命と Well-Being）／老化研究の最先端とビジネス、の 3 つの内容について、NOMON や帝人の取組み／自身の経験／さまざまな学術データ、などの視点から「老化」に焦点を当てた情報を共有していく。

## 1. 企業内起業 帝人と NOMON

この項では、企業内起業に至った背景と帝人グループの老化への取組みについて述べる。

### (1) 帝人グループ 100 周年プロジェクト

帝人グループの長期ビジョンは『「未来の社会を支える会社」になる』である。このための提供価値を「3 つのソリューションで、持続可能な社会実現への貢献」と定めている。3 つのソリューションのうちの 1 つ「少子高齢化・健康志向ソリューション」に関し、NOMON は特に医療以外のアプローチとして、食による健康寿命延伸を目指している。(図 1)

帝人は 1918 年に創業し、2018 年に 100 周年を迎えた。戦後人工繊維レーヨンで世界に進出し、技術をもとに成長した。PET/科学技術/高分子/医薬などの実績を伸ばし続け、1970 年代には日本最高水準の企業に成長し、その後、在宅医療、新薬製造も行っている。

100 周年を機に、次の 100 年に向けて担うべき役割について検討した。具体的には、100 年後の世界について検討するチーム（有識者+社員）を作り、以下 9 つのプロジェクトに取り組んだ：人間らしさ/衣服/感性/加齢/環境/住空間/食/移動/超高齢社会。このうち加齢に関する事業として、『「年齢を重ねる＝老化」ではなくなる』未来を考え、事業化第 1 号となった。ほかの 8 分野に関するプロジェクトも引き続き稼働中だ。

(参考：“TEIJIN 100th” <https://100.teijin.co.jp/>)

以上の流れを受け、帝人 101 年目の 2019 年、NOMON を創業した。社名は製品第 1 号 NMN に由来するほか、Gate/門/紋 (ブランド) がない、門を外して多様な人とつながろう、○ (=余白を持ち生きよう) などの意味ももつ。図 2 は NOMON のビジョンとミッション (Well-being for Everyone) だ。「すべての人がいつも、より良い状態でいられるように」というイメージを形にした LIFE POTENTIAL CURVE は、若年期から予備力 (健康な骨や筋肉) を蓄え、上側の太い線のカーブまで引き上げる重要性を示すものだ。(生まれてから最後の日までを 100 年とした場合、図中下側の細い線を標準とすると、最後の 10 年の衰えが心配だ。) この「より高い健康状態を維持する」取組みを NOMON が支えることを目指している。毎日楽しくポジティブに歳を重ねる「プロダクティブ・エイジング」が NOMON の長期ビジョンである。

図 1



図 2

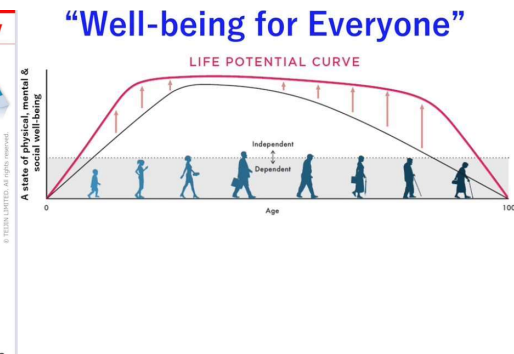


図 1、図 2 ともに ©NOMON 株式会社